

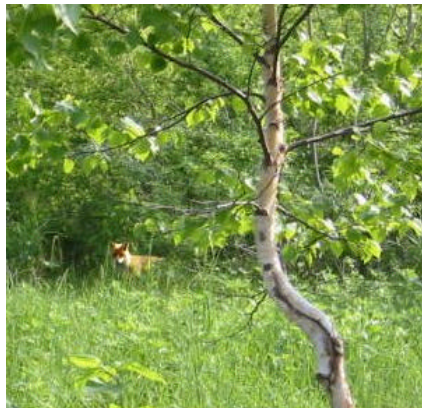
いよいよ全日本大会が北海道で開催される。梅雨のない北海道の6月はきっと爽やかだろう。



2007年6月 北海道

毎年3月の恒例行事・全日本大会が、2006年度は年度を越えて6月に開催される。それもそのはず、今度の全日本大会の開催地は北海道。山の雪が融けるのは5月に入ってから。例年全日本大会が開催されている3月は、テレインはまだ雪に閉ざされているのだ。

オリエンテーリングは自然を舞台に行うスポーツ。南北に長い日本列島の各地で大会を行うとなれば、その最適な開催時期が自ずと違ってくるのはしかたないだろう。



キタキツネに会えるかも

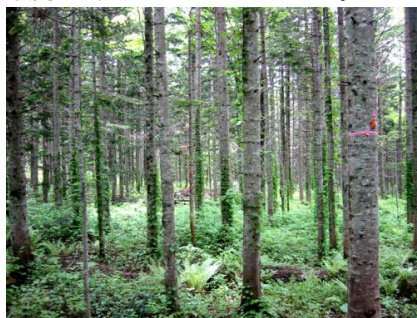
日本の自然

逆に6月に行われる北海道全日本大会は、日本の自然の多様さを感じさせてくれることになる。

本州以南の6月は梅雨。連日のように雨が降り続き、蒸し暑い日々が続く。梅雨の中休みには気温がぐんぐん上がり、熱中症が警戒される季節となる。

本州以南の森に入るとヤブは生い茂り、ウルシの葉っぱはすっかり大きくなっている。

そんな本州をよそ目に、爽やかな6月を謳歌しているのが北海道だ。梅雨前線のかからない北海道は、この季節最高に輝くシーズンを迎える。



エゾマツの森をまっすぐ駆け抜ける。
本州ではできない体験だ。

北の大地は夏時間

さすが北の大地と呼ばれるだけのことはあって、全日本大会が開催される夏至時期の夜明けは早い。午前3時過ぎには夜が明け、日の出は3:57だ。

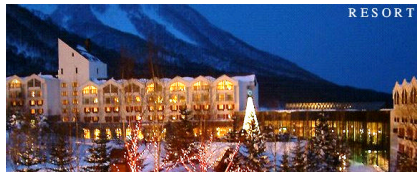
これにあわせて北の大地ではスタート時間も早朝に設定される見通し。なんでもトップスタートは8:00を考えているとか。

大会開催日中に飛行機で本州以南の自宅に帰る人にはありがたい設定だ。まるでサマータイムのある国から帰ってくるような感覚だろう。

会場はリゾート地

今回の会場はルスツリゾート。札幌と函館の間に位置するリゾート地だ。広大な土地にスキー場とゴルフ場、さらに遊園地まで備えた巨大なリゾート。

こゝルスツリゾートでは全日本大会が開催されたあと、2009年はじめにはスキーオリエンテーリング世界選手権大会が開催されることが決まっている。



(ルスツリゾートのwebより)

ヒグマのいない場所

2006年度秋には北陸地区で熊が多数出没してオリエンテーリングシーンに大きな影響を与えた。ではヒグマの生息する北海道ではどうなのか？

この全日本大会が開催される山域にクマは生息していないという。地図調査をはじめ現地準備される方々が安心して山に入れる場所ということで今回のテレインが選ばれているようだ。



北海道の春はまだ雪の下。
こんなに空は青いの羊蹄山は真っ白。

全日本大会

今回の全日本大会はオリエンテーリング人口の少ない北海道で行われる。近場の参加者はおるか、運営者すらも少ない状況だ。資金的な問題で内地からの応援をもらうこともままならない。北海道全日本大会の実情は厳しい。

これに加えて調査環境(気候)が厳しい。しかし悪条件を乗り越えて今回は開催される。全日本大会が「全日本地区」で行われるために。

関係者は語る。「北海道で全日本大会ができるのなら日本どこでも開催可能かもしれません。新生J.O.A主催大会としても今回は試練です。」と。

(木村佳司)